

idea

CONNECT × CONNECT

Twitter★http://twitter.com/#!/center_i

HP★<http://www.center-i.org>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

sum

2012

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、
NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと
出会いの機会を創ります。

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29

TEL&FAX 0191-26-6400

Email center-i@tempo.ocn.ne.jp

せんまやサテライト

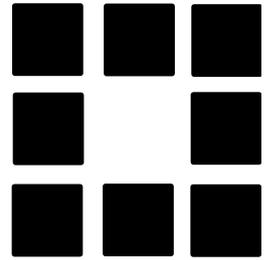
〒029-0803 岩手県千厩町千厩字町 149

TEL 0191-48-3735 FAX 0191-48-3736



connect × connect

平成 24 年度いちのせき市民活動センター



新年度が始まり早2ヶ月ですが、5月は、市民活動団体・自治会などの各種団体にとっては、総会シーズンですね。当センターも新年度が始まり、継続しているコミュニティ支援を行っているが、今年度の新体制の準備、事業の組み立てを慌ただしく行っています。今回からのセンター情報誌 *idea* は、より皆さんに有益な情報をお届けできるよう内容を一新して、お届けします。ここでは、今後、センター情報を、より知っていたいただくために、今年度のセンター事業の大きな特徴を紹介します。（市民活動・地域づくり活動において相談業務は、従来通り行います。）

◆ connect x connect ① 地域の窓口を設ける

相談窓口まで行けない、市民活動センターに依頼したいけど、依頼の仕方が分からないなど地域の声をいただいています。そのため、今年度から地域担当スタッフを配置し、地域の窓口的存在となり、地域のみなさまの「困った」の解決により早く対応したいと考えています。地域担当スタッフが定期的に支所を訪問し、地域の声を聞き、迅速に対応します。支所と連携し、コミュニティ支援を強化します。

◆ connect x connect ② 志の高い市民を育てる

人を育てるなど大それたことを言わせていただきますが、志民の成長戦略という地域運営のための実践講座を開催します。これまでは、ファシリテーションを中心とした講座を行ってきましたが、持続的な地域運営をするためには、

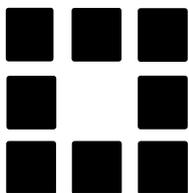
ノウハウを持った人が何人いるかによってクオリティの高さに違いが生じます。より多くの方に学びの場を提供し、ノウハウを持ち帰り、地域運営に役立てていただきたいと考えています。※各講座のスケジュールは、誌面の都合により割愛させていただきますが、ホームページやチラシにてお知らせしています。

◆ connect x connect ③ 情報発信力を高める

センター情報誌 *idea* は、一関の地域づくりの情報誌としての機能を高めます。地域づくりは、市民活動団体や地域組織だけが行うものではありません。行政はもとより企業も行っています。誌面の都合はありますが、市民活動、地域組織活動のほか企業の取り組みも取材します。*idea* をきっかけにつながりがはじまり、つながりがみつかればと思います。

◆ connect x connect ④ 良い意味での他力本願

様々な立場の人が関わり地域課題の解決のために話し合いを行う一関市の協働。しかし、まだまだ基盤整備ができていません。何かコトを行えば、〇〇がしたことだから、〇〇がしているからなど、主催や主体となる団体を優先する傾向があります。主催や主体が問題ではなく、そのコトに対して、みんなで取り組むことが大切なのです。「〇〇がやっていることだから」を無くし、一緒に取り組む素地を作りたいと思います。一時、事業仕訳が話題になりましたが、事業予算を仕分けるのではなく、事業効果に對してつながることが大切です。会話から対話の地域づくりを目指します。



2 | センターのやっている事

4 | 地域コミュニティの活動紹介

藤沢町 10 区 11 区自治体

5 | 企業の地域づくり

一関信用金庫

6 | 団体紹介

NPO法人防災サポートいちのせき

7 | 歩が行く-スタッフの体験レポート-

千厩絵手紙同好会

8 | 6月のイベント・ボランティア

5月の表紙



まち歩きをしている時に、
一関ノ駅にいたねこさんです。
頭を撫でるとコロンとお腹を
上に向け、人懐こくとても可愛
らしいねこさんでした。

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、
市民活動がアイデアを持ってNPOと行政や企業、市
民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報
誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体
情報や行政情報をお届けします。

一関市内のNPO法人
市内31法人が活動中です。

- 1 藤沢町ボランティアセンター
 - 2 北上川流域河川生態系保全協会
 - 3 ケアセンターいこい
 - 4 須川の自然を考える会
 - 5 レスパイトハウス・ハンズ
 - 6 一関文化会議所
 - 7 一関ケアセンター
 - 8 ワークハウス雲
 - 9 里山自然学校 はずみの里
 - 10 全国地域学習振興会
 - 11 北上川サポート協会
 - 12 グリーンハート
 - 13 いわい地域支援センター
 - 14 アートで明るく生きるかわさき
 - 15 障害者への偏見と差別をなくす会
 - 16 サン・スマイル
 - 17 ねこの手クラブ
 - 18 いわてコミュニティファンド
 - 19 千厩まちかどケアセンター
 - 20 いわて発達生涯サポートセンターええ町づくり隊
 - 21 いちのせき子育てネット
 - 22 響生
 - 23 わかば会
 - 24 防災サポートいちのせき
 - 25 とーばんふうどくらぶ
 - 26 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
 - 27 あゆみ
 - 28 子育て支援いっすね
 - 29 ファンスポルト一関
 - 30 北上川流域連携交流会
 - 31 グローバルヒューマン
- (認証順で掲載しています)

地域

コミュニティの 活動紹介

藤沢 10 区 11 区中山間事業

— 田植え体験で世代を超えた交流 —

会長 佐藤賢吉 様

藤沢町内では「中山間地域等直接支払制度」を活用して水田や畑などを集団で管理している人たちがいます。その中で今回は、藤沢10区11区中山間事業の取り組みを取材しました。

地域経験を大事にしたい

中山間地域等直接支払制度を利用するきっかけは、11区内にある水田には、10区▽11区の方々の他に9区の方の水田もあります。何か大きな水田管理作業を行うのに「個人之力」では金銭的な限界もあると感じた会の代表・佐藤賢吉さんは、「このままでは水田維持が困難になるし、稲作を放棄すれば地域の土地が荒れてしまう」と感じ制度の事を知った佐藤さんは活用しようと考えました。「集団での水田管理をしてみないか？」と呼びかけし、地域内での賛同を得て会の発足に至りました。

時間が教えてくれた事

第10区▽11区自治会の発足当初は元気に水田管理ができていましたが、時間の経過とともに「高齢化」

という問題が出てきました。

会では一人の負担にするのではなく集団で稲作を行う事を改めて考え、高齢化した家の「跡継ぎ」にゆっくりと稲作の事を教え、全員で作業をしてゆく事にしました。

人を育てる

ただ、「高齢化」に対して、その場だけの対応ではダメだと考えた会の皆さんは、「世代間交流」をすることで稲作への興味をもってもらい、地域に水田がある素晴らしさを知ってもらおうと、地域の子ども達と若い大人の世代、稲作から引退した老人クラブなどあらゆる世代の人を巻き込んで「世代間交流」をし「田植え体験」をすることを思いつきました。

当初1回のみでの予定でしたが、参加した方々から「またやりたい」との声に今年で7回目の杖体験会となりました。子ども達は田んぼに入り、ドロンコになりながら田んぼに入り、老人クラブの人たちに田植えの仕方を教えています。20代〜30代の大人も作業しながら、水田管理のコツを質問したりもしていました。

収穫祭

「田植え体験」で植えているのは「もち米」で5月に植えた稲は10月には金色に実り、参加した人たちで「収穫祭」を行っています。収穫祭ではみんなで「餅つき」をし、収穫への感謝と喜びをあらゆる世代で感じ、農業の楽しさを知ってもらっているということです。

まだまだ一関市内には、色々な事に取り組んでいる自治会や組織が沢山あります。そして地域での住民同士の繋がりが、若い世代から人生の先輩方との世代間での繋がりが大事にしている地域をこれからも紹介してゆきたいと思えます。



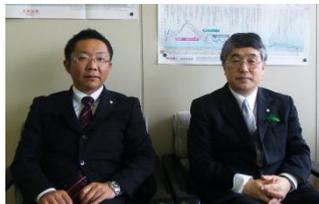
ドロンコになりながらも、みんな楽しそうに田植え体験をしています。

—地域とのつながりを深める—

企業の 地域づくり

一関信用金庫

経営企画部部長 岩瀨 敏明 様
次長 千葉 茂 様



地域づくりはNPOや市民だけが行っているわけではありません。一関市内の企業の取り組みを紹介します。企業の地域貢献活動取材は、一関信用金庫へお邪魔し企画営業部の岩淵さん、千葉さんにお話しを伺いました。

地域とあゆむ

一関市中里の一関遊水地周囲堤沿いにはたくさんの桜で私たちに春の訪れを知らせ、心を和ませてくれます。

この桜は、一関遊水地事業着手20周年記念として平成4年に一関信用金庫が寄贈した桜苗木620本で、平成20年には桜苗木寄贈のほか、補植作業も実施しました。

同金庫では、昭和52年に一関市へ水槽付き消防ポンプ車「しんきん号」を寄贈して以来、『地域とともに共存・共栄する地域に根差す金融機関であること』を理念とし、職員全員が一丸となり様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

大きく育て、千年桜 千本桜プロジェクト

当初、造園業に委託していた桜苗木の管理でしたが、平成23年に同金庫の企画営業部と総務部で桜の管理をする『千本桜管理プロジェクト』を立ち上げ、苗木の管理だけでなく草刈り作業や周囲の清掃も活動の内容に加えました。

「第1回目となる『千本桜プロジェクト』では、平成23年5月に職員150名が参加し、剪定や施肥作業を実施、第2回目となる平成24年4月21日には250名の男女職員が参加し、約4^キにわたる植栽区間で作業し、桜の成長を願った」と岩淵さんは語り、作業後のゴミ処理は話し合う場を設け一関市から快く受け入れの許可が出たとのことでした。



中里の一関遊水地周辺の桜です。
とても美しく咲いております。

桜に込めた思い

小野寺理事長は「早く桜の苗木が成長し、この場所が市民の憩いの場となれば」と、春の訪れを告げる桜に思いを込めました。今後同プロジェクトでは剪定や施肥作業・清掃活動をしながら桜の成長を見守り続けていきます。

これからも 地域のために 地域とともに…

経営方針の一番が「地域との連携」「地域への情報発信」であり、長期にわたる地域活動への積極的な取り組みを行なっている一関信用金庫。岩淵さんは、「今後も、まちの清掃活動だけではなく、子どもからお年寄りまで参加ができるイベントの主催・企画など『地域にとって何が一番必要か』ということを考えながら、今後も地域に密着していきたい」と話していました。

取材 千葉 歩
金野 尋世

NPO法人防災サポートいちのせき

団体紹介

～基本情報～

◆設立 平成 21 年 12 月 25 日

◆事務所

〒029-3101

一関市花泉町花泉字原 51 番地 9

TEL&FAX 0191-82-1023

◆会員数 15 人（平成 24 年 3 月 31 日現在）

※キャッチフレーズ

私達には守る郷土と未来へ伝えることがある



理事長の千葉博さん

災害に強いまちをつくるために

～防災力を高める重要性～

市民の防災意識の 向上のために

「市の防災力は行政機関の持つ防災力と住民自身がつけている災害対応（予防）力で決定されます。」という語る千葉さんは、同じ考えを持つ消防署員の中心となり、自宅を事務所にして活動を開始。住民の命を守るためには、住民自らの防災意識の向上が必要だと言います。地域に根付いた実効的な社会貢献と、住民としての責務を果たすために、特定非営利活動法人防災サポートいちのせきを設立。

地道に一つ一つクリアしていくことが大切」と語り、「自分には関係ない」という姿勢でいる住民に対し、「災害は誰もが遭遇する」ということと、防災に関する知識や技術を伝え続けています。

今後めざしていくもの

「行政と住民が一体となつて防災力を高めることが重要です。」と千葉さん。行政がハード面、住民がソフト面を担当し、行政と住民の相互協力により、市全体の防災力を高めていくこと、そしてその活動の継続こそが、災害に強い街づくりにつながります。

昭和 22 年、23 年のカスリン、アイオン台風は語られませんが、東日本大震災を経験した住民には「災害を未

来へ伝える」ことが責務に加わりました。また、千葉さんはこれからの課題について「日本全国で様々な災害があり、子どもたちの災害に対する知識や技術を高めること」を指摘し、また、進学や就職で一関を離れても、災害に対応できるように、一関市民皆で、防災教育を行わなければならないという強い願いを持っています。「地域住民から要請があれば、講座や訓練指導のためにどこへでも伺います」と笑顔で話してくれました。

取材 千葉 歩

須藤 達也



歩が行く

センタースタッフの千葉歩の体験レポートです。

たちが集まり平成10年に同好会を
結成しました。

現在会員は50歳代〜80歳までの
11名で町内の施設を利用し毎月1
回開催しています。



時の流れを感じて

季節の花・山野草、果物や野菜・
行事や社会風刺など、身近に感じる
季節の移り変わりや時代の流れを肌
で感じ、目で見て発見することも楽
しみながら、絵手紙のモデルにして
います。

月の1度の集まりは、仲間との近
況報告などの話しに花が咲き。楽し
みながら作成していました。



おもいを吹き込む

白い用紙に思いを込めて丁寧に輪
郭を描きます。

色を入れていくことで表情が豊か
になり、言葉を入れていくことで絵
手紙におもいが吹き込まれます。

絵手紙に描かれた絵からは季節や
社会の流れを感じるとともに、なぜ
か懐かしさも感じられます。また、
添えられた言葉のひとつひとつには
暖かさを感じ、心が安らかな気持ちに
なります。



つながりを広げる・・・

「今後は、仮設住宅の方々もぜひ参
加していただき、お茶を飲みながら
楽しく交流しあえる活動ができれば」
と代表の氏家さんは話していました。
今月の絵手紙同好会では、千厩仮
設住宅に住んでいる方の初参加もあ
り、絵手紙作成の後は歓迎会を兼ね
てのお花見会も催されました。



絵手紙の掲示場所

- ・千厩公民館
- ・郵便局 千厩支店
- ・宅老所せんまや
- ・千厩サテライト



絵手紙は不定期に同好会の会員が
交換しています。
わたしも、絵手紙作成に挑戦してみ
ました。(千葉 歩) 久々の筆と絵具
の使用で、思うようにいきませんで
したが、2枚作成しました。同好会
の作品と一緒に千厩サテライトに展
示していただきます。





イベント・ボランティア情報



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報やボランティア募集の情報をお待ちしております。

TEL & FAX 0191-26-6400 ☒ center-i@tempo.ocn.ne.jp



森は海の恋人 植樹祭

NPO法人森は海の恋人では、ひこばえの森で広葉樹を植える作業を行います。当日は、地元で採れた食材を使用した料理販売や、こっこん水車祭り等様々なイベントも行われます。

☉日時：2012年6月3日(日)

午前10:00～(予定)

♪場所：岩手県一関市室根町矢越山「ひこばえの森」

❖申し込み：不要/現地集合・現地解散

☎0226-31-2751

☒info@mori-umi.org



須川学習会

NPO法人里山自然学校は、ずみの里では、須川の自然林や湿地で、森林との関わりや役割を学べる「須川学習会」を開催します。

☉日時：平成24年6月9日(土)

♪場所：須川

(集合：はずみの里か道の駅巖美溪)

❖料金：無料

★持ち物：弁当、飲み物、メモ用紙、筆記具、雨具、タオル、着替え等

◇申し込み：必要

☎0191-82-3857

☒hazumi@wine.ocn.ne.jp



いちのせき 100万人の キャンドルナイト 2012 夏至

一関世代にかけける橋では、夏至の夜にキャンドルを灯し、七夕飾りや短冊の装飾、募金活動を行います。

当日16:30から、キャンドルを並べてくれるボランティアも募集しています。

☉日時：平成24年6月16日(土)

午後6:30～7:45

♪場所：あいぽーと(0191-26-0077)

❖料金：無料

★持ち物：特になし

◇申し込み：不要

☎0191-23-9721



一関子ども劇場

一関子ども劇場では、「子どもに夢を…！たくましく、豊かな創造性を！いきいきワクワク体験を、親子で一緒に楽しみましょう！」をモットーに、例会を開催します。第81回は「たっちゃん紙芝居」を上映予定です。

☉日時：平成24年6月20日(水)
午後6:00～7:00

♪場所：いわて生協コルザ2階(予定)

☎電話：0191-25-6160

★持物：特になし

□申し込み：必要

担当：野沢



東日本チャリティ 足もみ体験会

老松活性化同志会と関わりの深いおんたけさん 御嶽神明社では、「夏越の大祓」に合わせ、脚もみやOVERLAPの石川先生をお招きし、足もみ体験会を開催します。※収益金はいちのせき市民活動センターに寄付されます。

☉日時：平成24年6月21日(木)
午後3時～4時30分

♪場所：御嶽神明社

☎電話：0191-82-3382

❖料金：10分500円

□申し込み：不要

★持物：なし

担当：佐藤一伯



ユース・スキルアップセミナー

もりおか・いわて若者サポートステーションでは、コミュニケーション講座、ものづくり、調理実習、ボランティア活動、職場見学などを無理なく楽しみながら体験できる6日間のプログラムで構成されたセミナーを実施します。

☉日時：平成24年6月27日～29日
平成24年7月4日～6日
10時～15時30分

♪場所：一関市総合防災センター
2階研修室

☎電話：019-625-8460

❖料金：無料

□申込：必要

★持物：筆記用具・昼食



農作業ボランティア

ひこばえを守り育て隊では、遊休農地を活用した農作業で一緒に汗を流し、自然の中で生きがいを見つけるボランティアの方を募集しています。

☉日時：毎週日曜日 10時～12時ごろ

♪場所：大東町猿沢地区

❖報酬：無償

★持物：くわ・タオル・飲み物・おやつ・お茶

◇申込：必要

担当：葉澤ちえ子

☎電話：0191-21-3086



お弁当屋さんのボランティア

NPO法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲のお弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。

☉日時：毎週火曜日・金曜日
10時～13時

♪場所：雲のお弁当屋とその周辺

★持ち物：エプロン・かっぱう着

□報酬：交通費(要相談)

◇申込：必要

担当：渡邊知子

☎電話：090-7073-4985



そろばん学習会

NPO法人全国地域学習振興会では、お子さんを対象に、そろばん学習の基本が学べる、体験学習を開催しています。

☉日時：平日 16時～17時

♪場所：小野寺塾指導ネットワーク

❖料金：無料

★持物：そろばん・筆記用具

◇申込：必要

担当：小野寺アヤ子

☎電話：0191-23-5806